

インスリンとともに生きる

特定非営利活動法人

日本IDDMネットワーク

# 1型糖尿病(IDDM)って なんだろう？

## 1型糖尿病(IDDM)とは

- 毎日数回のインスリン注射又はポンプによる注入を生涯にわたって必要とする病気です。
- 一見、病気のように見えませんが、インスリン注射又はポンプによる注入をしないと数日で死に至る病気です。
- 意識を失うような低血糖や高血糖は命にかかります。

詳しくは  
こちらから

## わたしたちも 頑張っています

～1型糖尿病でありながら活躍



大村 詠一 さん (エアロビック選手)

僕は1型糖尿病とエアロビックという2つの個性のおかげで広がった出会いによって、今の自分がいると考えています。風邪をひいたら風邪薬を飲むように、1型糖尿病だからインスリンを打っているだけで、何だってできます。僕も実際に踊っていますし、これからも注射を打ちながら踊り続けたいと思っています。皆さんも1型糖尿病と付き合いながら、いろんなことに挑戦してくださいね。

# 日本IDDMネットワークって どんなことをしているの？

## 日本IDDMネットワークとは

全国の患者や家族の会、医療機関、企業、行政等と連携を図りながら、1型糖尿病(IDDM)に対する理解を深め、患者や家族の心のケアに努めることで患者が自立できるように支援するNPO法人です。

詳しくは  
こちらから

しているお二人からのメッセージ～



岩田 稔 さん (プロ野球 阪神タイガース)

僕も1型糖尿病を発症して、一時は野球を断念しかけましたが、家族や仲間の支えがあり、今こうしてプロで活躍できるようになりました。僕がプロ野球で頑張ることで、1型糖尿病でもやれば何でも必ずできるということを皆さんにもわかってもらえたらうれしいです。

# 1型糖尿病(IDDM)とは

1型糖尿病(IDDM、インスリン依存型糖尿病、小児期に起こることが多いため小児糖尿病とも呼ばれます)は、主に自己免疫(図1)によっておこる病気です。自分の体のリンパ球があやまって内乱を起こし、自分自身のインスリン工場である膵臓のランゲルハンス島のβ細胞(図2)の大部分を破壊してしまうことで発病します。

生活習慣病でも、先天性の病気でもありませんし、遺伝して同じ家系の中で何人も発病することもまれです。過去のウイルス感染がリンパ球の内乱のきっかけになっている場合が多いのですが、糖尿病の発病はウイルス感染がなおった後の出来事です。糖尿病が感染することはありえません。

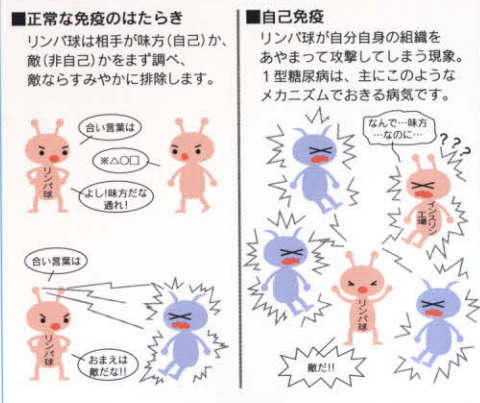


図1

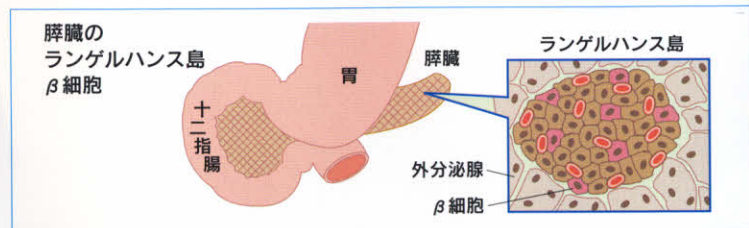


図2

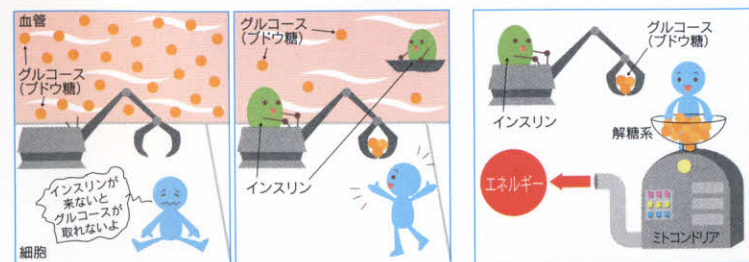


図3

図4

インスリンとは、人の体の中で血糖を下げる作用を持つ、必須のホルモンですが、1型糖尿病(IDDM)では、自分の体の中の工場インスリンを作ることができなくなってしまいます。インスリンがないと、グルコース(ブドウ糖)を細胞に取り込むことができず(図3)、血管のなかにグルコース(ブドウ糖)があふれかえることになってしまいます。

グルコース(ブドウ糖)は細胞のエネルギー源(図4)として大切なものですが、血管の中に大量に残っていると、様々な形で血管の壁に溜まり、糖尿病特有の合併症につながります。

1型糖尿病(IDDM)では、脳死臓器移植や膵臓移植を受けるか、血糖測定(図5)をしながら、生涯にわたって毎日数回のインスリン自己注射またはポンプによるインスリン注入(図6)を続ける以外に治療法はなく、糖尿病患者の99%を占める2型(成人型)糖尿病とは原因も治療の考え方も異なります。

日本での年間発症率は、10万人あたり1~2人です。



図5



図6

このように、原因不明の難病であることに加え、治療を厳密に行わないと心臓、腎臓、眼、神経等の病気が発症しますので、患者本人の苦痛はもとより、その家族にとっての精神的、経済的負担は多大なものとなっています。

# 日本IDDMネットワークとは

## 設立の目的と経緯

平成7年1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、被災地の患者はインスリンの入手等に大変な苦勞を強いられました。この震災が契機となり、こうした緊急時の対応を含めた患者・家族会の連携を図るため、同年9月に「全国IDDM連絡協議会」が発足しました。

その後、ニーズの拡大に伴い、全国のインスリン依存型糖尿病患者の自立推進母体としての社会的使命に積極的に応えられるよう、平成12年8月21日に「全国IDDM連絡協議会」を発展的に解消し、「特定非営利活動法人全国IDDMネットワーク」を設立いたしました。

また、平成15年6月に、先進国の事例を学びながら世界を視野に入れた事業展開を目指すべく、「特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク」へと改称いたしました。

## 入会について

全国各地の患者・家族会のネットワークを基本として運営していますが、お住まいの都道府県に患者・家族会がない場合等、**ひとりで悩まないで!**お気軽に事務局までお尋ねください。

ホームページでも詳細をご紹介します。

### 年会費

- ・正会員、賛助会員とも、5,000円/口です。
- ・個人会員は、2,500円です。

### ご寄付のお願い

当法人の事業を、ご支援いただける方々のご寄付をお願い申し上げます。

郵便振替 口座名義:特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク  
口座 口座番号:01780-7-73905



## 主な事業の内容

### 1 ネットワークの拡大・支援

個々の患者・家族の精神的サポートのため、患者・家族の会がない地域での設立支援等を行います。

### 2 政策提言

20歳以上の患者への支援策等、具体的な政策を提言します。

### 3 調査研究

「大規模災害時におけるIDDM患者の行動・支援指針」の策定や「1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアル」の作成等、毎年テーマを設けて取り組みます。

### 4 シンポジウムと患者・家族交流会

全国の患者や家族並びに各患者・家族会が抱える課題の克服に向けて、シンポジウムと全国交流会を毎年開催します。

### 5 関係団体との連携

医療関係団体との情報交換等を通して、よりよい医療のあり方を考えます。

### 6 普及啓発

取材や番組制作への協力等を通して、1型糖尿病(IDDM)に関する広報・啓発活動に取り組みます。

### 7 療育相談

ホームページや電話等を通して、各種情報の提供や療育相談等に対応します。

### 8 会報発行

最新情報や患者・家族の抱える課題等を掲載した会報を発行します。



特定非営利活動法人

## 日本IDDMネットワーク

---

**理事長** 井上 龍夫

〒446-0071 愛知県安城市今池町2-1-28 2-502  
TEL 080-5127-2759

**事務局** 〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1丁目8番32号  
iスクエアビル3F 市民活動プラザ内(レターケースNo.42)  
TEL&FAX 0952-20-2062

**ホームページ** <http://www5.ocn.ne.jp/~i-net/index.htm>

**Eメール** [i-net@isis.ocn.ne.jp](mailto:i-net@isis.ocn.ne.jp)

---